

時代の節目に10代最後の年(19歳)を迎える45回生へ

副担任 野浪隆史

2019(平成 31/令和元)年度も後半に入り、猪名川高校に登校する日も残り少なくなってきました。45回生の皆さんは、この猪名川高校に縁あって入学し、高校時代の青春の日々を過ごしてきました。さて、来年度は2001(平成13)年度生まれの世代にとって節目の年度となるのを感じていますか。この2020(令和2)年度は、皆さんの世代が19歳になり、東京オリンピックや大学入試制度改革など、変化の年であり、日本の女性人口の半分が50歳以上となる、日本の高齢化が加速する年でもあります。この2020(令和2年)年度でこの文章を書いている私は38歳になります。

私が19歳だったのは、45回生の皆さんの世代が生まれた2001(平成13)年度です。この年度は、21世紀最初の年度でしたが、進路情報は受験雑誌などの紙媒体が主流であり、スマートフォンはまだ開発されておらず、インターネットも大衆にあまり普及していない時代でした。また、高校の授業である「情報」の科目が当時はまだなく、テレビもアナログ放送で、薄型テレビはありませんでした。今年度の4月に3学年の遠足で行った、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンは、この年度に開業しました。

私は20歳になる、2002(平成14)年度に大学生になりました。この頃から、携帯電話（当時はガラケーのみ）が急速に普及し、インターネットも大衆に広まり、情報化社会となりました。高校の「情報」の科目は、2003(平成15)年度から始まりました。

元号が平成から令和に変わるといふ時代の節目が今年度ありましたが、皆さんの世代が10代から20代になる2021(令和3)年度以降は、私の世代(1982[昭和57]年度生まれ)が19歳～20歳に経験した以上に、世の中が大きく変化する時代になります。そのことを意識しながら、残り的高校時代の青春の日々を過ごしてください。

12月24日以後の予定

- 24日（火）終業式、家族の日
- 25日（水）冬季休業（～1/7）
センター試験プレテスト①
- 26日（木）英語特別講義、楊津小学校クリスマス会
- 27日（金）センター試験プレテスト②、仕事納め

1月の行事予定

*印は休業日

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
* 1	水	(祝) 元旦	1 6	木	センター試験受験者集会 3年福祉交流委員会
* 2	木		1 7	金	阪神淡路大震災追悼行事
* 3	金		* 1 8	土	大学入試センター試験①
* 4	土		* 1 9	日	大学入試センター試験②
* 5	日		2 0	月	センター自己採点
* 6	月	仕事始め、英語特別講義②	2 1	火	カウンセリングデー、家族の日
* 7	火	家族の日	2 2	水	3年学年末考査①
8	水	始業式、大掃除	2 3	木	3年学年末考査②
9	木	平常授業開始	2 4	金	3年学年末考査③
1 0	金		* 2 5	土	
* 1 1	土		* 2 6	日	
* 1 2	日		2 7	月	3年学年末考査④
1 3	月	(祝) 成人の日	2 8	火	3年学年末考査⑤、大掃除、 ワックスがけ、カウンセリングデー
1 4	火		2 9	水	3年家庭学習開始
1 5	水		3 0	木	
*	*	* * *	3 1	金	漢字検定

どの場所、どの時代でも、一番大切なのは命です

- 戦争で国が良くなることはない。
- 戦争をしている暇はない。
- この30年間見ていて、破壊ばかり。それだけでした。
- もし真理というものがあれば、それは地下水みたいなもの。
- どの場所、どの時代でも、一番大切なのは命です。

以上の言葉は、誰の言葉かわかりますか？

- 日本の平和的なイメージが非常に好印象を、アフガンの人たちに与えていることは事実です。
- 子どもたちや孫たちに良いアフガニスタンを残すこと、それが一番の課題。
- アフガニスタンでは温暖化の影響で農地が乾燥し、年々失われて、食料がなくなり、深刻な事態になっている。私は医療関係者だが、薬だけでは人々の健康は守れない。清潔な水、それから十分な食べ物を確保するために、かんがい事業が欠かせない。

- 医療だけでは限界がある。
- 命をいとおしむという気持ちで物事に対処すれば、大体誤らない。
- 善意の押しつけだけでは失敗します。
- 地元の人が何を求めているか、そのために何ができるか、生活習慣や文化を含めて理解しないと。

もうわかりましたね。

これらは12月4日にアフガニスタンで武装グループに銃撃されて亡くなったペシャワール会現地代表で医師の中村哲さん（享年73歳）の言葉です。中村さんは、30年以上にわたって医療活動に従事し、清潔な水を確保するために井戸や灌漑設備の設置にも力を入れ、用水路を建設して砂漠を緑の農地に変えました。

アフガニスタンに住むすべての人が、中村さんの死を嘆き悲しみ、その命を守れなかったことを謝罪し、これまでの功績に心からの感謝を示しました。帰国に際して、大統領自らが飛行機まで棺を担いで最大限の敬意と謝意を示すのを見て、アフガニスタンの人々がいかに中村さんを敬愛していたかをあらためて知った思いでした。

- ペシャワール会の日本人スタッフが現地の人々と力を合わせて築いた13キロの用水路で約6000ヘクタールに水が届く。続いて、第2期7キロの建設に取りかかる。2年後の完成でさらに約1万ヘクタールの砂漠を緑化できる。13キロ分の建設費8億円は、趣旨に賛同した日本の方々から寄せられた。これで十数万人の離村を防ぐことができた。水を得て、パキスタンの難民生活から村に帰った農民は「貧しくても、自分で働いて食うことは、難民生活よりも1千倍でした」と喜んでいた。

- 安全対策として最善なのは、誰とでも友人になること。
- 敵を作らないようにしています。（中略）たとえ信念がないように思われようと、最も良いのは誰とでも友人になることです。私がここで頼りにできるのは人間だけですから。

今回、中村さんは武装グループの凶弾に倒れましたが、中村さんは多くの人々の心の中で生き続け、その遺志は日本やアフガニスタンをはじめ世界中の人々に受け継がれていくことでしょう。私たちも、中村さんの生き方や考え方を、日々の生活の中で、出来る時に、出来ることから、出来る所で少しずつでも見習っていきたいものだと強く思いました。心からご冥福をお祈りいたします。（長山）

* 保護者の皆様へ *

卒業記念品としてテントを1張り購入させていただきましたが、費用に余裕があるため、長机を4台追加で購入させていただくことにしました。職員室前の廊下において、後輩の自主学習などに役立ててもらおうと考えています。ご理解の程よろしく願いいたします。